



27年度からの新保育制度

佐藤 一郎

問 保育所・幼稚園は満杯状態である。今までのことを踏まえて、新制度の市長の考えを伺う。

市長 新制度は、次世代を担う子どもたちを安心して生み育てることができると環境づくりが視点であります。受ける側も、今までは保育所、幼稚園の時間が限定されていましたが、今度は多様になっていくのが特徴です。大筋は出てきていますが、細かい部分については、これから詰める作業が残っています。今後、条例等をさらに説明し、質問があれば答えていきたいと思います。

問 市長の公約では待機児童ゼロを掲げている。今後の対応について市長の見解を伺う。

市長 今度の制度改正では、多様なことも含め待機児童ゼロという大きな課題に本格的に国が腰を上げてきました。ポイントとなる部分は、3歳未満の子どもたちを中心とした保育の枠組みをしっかり確保することです。多様なニーズに関しては、認可外保育施設の小規模保育事業への移行、新

たな事業所内での保育に新規参入が見込まれます。私立幼稚園の認定こども園の移行などが図られます。それらが動き出せば、待機児童解消につながっていくと思います。

保育料の緩和しないのか

問 保育料について、今年5%から8%に消費税が上がり、来年にはもしかすれば10%になると考えられます。27年度に保育料の緩和をしないのか、どのような方向性を出すのか伺う。

健康福祉部長 国の方で手当をさせていただける財源については、不確定要素がありますが、新年度に向けて準備は粛々と進めなければなりません。その中で、岩沼市の保育料の水準を、国が示している水準と比べてどのくらいにするのかということについては、あまり急激に上がったたりしないように、調整を図っていく必要があると思います。

◎その他の一般質問
・若者定住対策



AEDの設置

長田 忠広

問 AED(自動体外式除細動器)の必要性をどのように思っているか伺う。

市長 市民の救命のために非常に有効な医療機器です。そして、高齢化が進んでいく中では、今後ますますその必要性が高まっていくのではないかと思います。

「コンビニと協定し設置を

問 まだ設置されていない公共施設や市営住宅等への設置の年次計画を伺う。

健康福祉部長 計画的に設置を行うっていく考えています。

なお、市営住宅には、AED付きの自販機設置などを進めていきたいと考えています。

問 (具体的に) 何年度ぐらいまでに公共施設への設置を考えているか伺う。

健康福祉部長 (これまで) 常時多くの人が出入りする施設を優先して行ってきました。(公共施設で)残っているのが、ハナトピア岩沼と農村環境改善センターです。こちらにつきましては、新年度で(設

置を) 考えることになるかと思いません。

問 大体の公共施設で、設置が順調に進んでいる。その次の段階として、(24時間開いている) コンビニエンスストアと協定を結びながらに設置してはどうか伺う。

市長 現段階では、設置費用とか管理責任とかさまざまな部分の課題がありますので、もう少し調査、検討していきたいと思えます。

◎その他の一般質問
・地域福祉計画



グリーンピア岩沼のAED